

日本学術会議
経済学委員会数量的経済・政策分析分科会議事録
第24期 第3回

- 1 開催場所 学習院大学 東2号館13階 第3会議室
 - 2 開催日時 平成30年9月8日(土) 10時30分～11時30分
 - 3 出席者
(50音順) 大竹文雄、川崎茂、川崎能典、北村行伸、国友直人、小原美紀、西郷浩、瀬古美喜、西山慶彦、福重元嗣(定足数8のところ、出席者合計10名)
-

1. 第二回会議(6月兵庫県立大学にて開催)について議事録を確認し、了承された。
2. 2019年度日本経済学会でのチュートリアルセッションについて、登壇者と内容を確認した。
成田悠輔氏(イェール大学)「機械学習vs経済学:実験の設計をめぐって」として行う。
なお、日本語で行うこと、最初の10分は導入として経済学者にもわかりやすく説明してもらうようお願いすることが希望として出された。
3. 西山委員長より、例年通り、関西計量経済学研究科会での共催セッションをやる旨、報告があった。
4. 業務統計の利用について前回に引き続き議論した。
5. 北村委員より、日本学術会議のマスタープランの策定に関する情報提供があった。
6. その他
次回の分科会は、2019年6月8日(土)・9日(日)に武蔵大学で開催予定の日本経済学会春季大会で開催されることが確認された。日程調整については、7月上旬に行うことが確認された。